

セカイノメイシヨ

文 高雄事務所 坂田 / 写真 高雄事務所 大辻

皆さんは、一生に一度は訪れたい場所ってありますか？

「私は地球を出て月に行きたい。」「世界一周して世界遺産を制覇したい」「日本国内も全部回っていないので日本各地を回りたい」という方もいるかもしれませんし、ピンポイントで「聖地ウルル（エアーズロック）が見たい!」「マーライオンの前で同じ格好で写真を撮りたい!」という方もいらっしゃるかもしれません。

今回は、そんな皆様へ坂田・大辻コンビによる最後の台湾通信をお届けします。

「ははぁん。今回は、桃園のミニチュアワールドだなあ」と思われた方、かなりの「台湾通」です。しかし今回は、ちょっと違います。

台湾の離島にある素晴らしい景色を紹介したいと思います。

まずは、「聖地ウルル」。言わずと知れたオーストラリア中央にあります世界最大級の一枚岩「エアーズロック」です。こんなものが台湾に?しかも離島に?と思われるかもしれませんが、こちらの写真をご覧ください。これは、澎湖島からさらに小舟で行った離島にある風景です。海岸線のじ



澎湖

おばーくの写真はよく見ると思いますが、陸に忽然と現れる姿に思わず「感嘆〜」です。

続きまして、「シンガポールまでの飛行機がきつい」といわれる方へのおすすめ。それは、金門のシーサーです。これがマーライオン??と思われる方。遠くから薄目で見れば、見えなくもありません。まさに「いわしの頭も・・・」であります。



金門風獅爺

10月に南ソロモン諸島で傾光に光る海ガメが世界で初めて発見されて、話題となっております。台湾では、蛍光色に光る海ガメはみることはできませんが、高雄付近の東港からフェリーで約30のところにある小琉球に行けば、運がいいと海岸を歩いているだけで、天然のウミガメに遭遇できます。これで、ハワイやセブに行って、スクーバダイビングやシュノーケリングなどしなくても、大丈夫ですね。

最後に、「日本国内でもすべて回っていないのに・・・」という方、せっかく台湾にいらしたら、日本の長崎佐世保の九十九島を台湾で見ってしまうという不思議体験はいかがでしょう?これは、台東にある「緑島」にいけば、一粒で二度おいし



小琉球



蘭嶼



緑島



馬祖旧市街保存地域

い感じです。

特に、穏やかに晴れた夕日の時間は、静かに時間が流れて、どこにいるのか？今日がいつなのか？自分は誰なのか（←これはない）忘れるぐらいであります。

このほかにも、海と陸のコントラストが最高に素晴らしい1000年前のベニスの海岸線を思わせるような蘭嶼島であったり、一瞬イエメンサヌアの旧市街地を思わせるような媽祖島の旧市街地保存区など、あげ（こじつけ!？）れば、きりがありません。

これまで、たくさんある台湾の風習や景色の、坂田主任が文章を、大辻主任が写真を担当してまいりました。少しでも台湾のことが好きな人が増えてくれればいいと思い、台湾大好きな二人の高雄事務所の主任が、コンビを組んではじめた台湾通信も今回のお届けが最終回となります。これまで二人の独断と偏見で、半歩首を突っ込んだり突っ込まなかったりしながら、お届けしてまいりました。お楽しみいただけましたでしょうか？これからも台湾のことを愛し続けたいと思いつつ、今回はここでペンを・・・カメラを・・・置きたいと思います。

どうもありがとうございました。